

令和7年度 学校評価

内子町立小田中学校

【教育目標】	ふるさとを愛し、自覚と自信を持って生きる生徒の育成
【基本方針】	1 「ふるさと小田」の良さを生かした特色ある学校づくり 2 「一人は一校を代表する」の教えの下、子どもたちの自覚と自信を引き出す学校づくり 3 心の教育の充実を図り、人権が尊重される学校づくり 4 安全・安心で信頼される学校づくり

【評定】 A…順調 B…おおむね順調 C…あまり順調でない D…順調でない

分類項目	評価結果(%)			考察・改善	学校評価委員の評価	評価
	○…該当する調査項目 数値…12月の評定のA+B					
	対 象	R6	R7			
確かな学力の定着と向上を重視した教育活動に努める。(生徒一人一人に応じた適切な指導)	保護者 ① 生徒 ② 教職員 ⑪⑮	80 96 100	88 100 100	朝読書の時間の充実や年に10回のドリルテストの継続など、確かな学力を育てるための工夫を行ってきた。生徒の学力の差は大きく、生徒への支援や家庭への啓発が必要である。取組の一層の充実とHPや校報などを利用した情報伝達にも力を入れなければならない。	個々のニーズに応じた細かい指導がなされている。小中相互の定期的な授業参観により、児童生徒の実態把握をするのも良いと思う。	A
人権尊重の精神を育成し、いじめ・不登校のない学校づくりに努める。	保護者 ⑤ 生徒 ⑧ 教職員 ⑮⑯	74 92 100	77 100 100	今年度、いじめとして2件計上し、不登校3名で報告した。組織的な取組で対応を続けている。人間関係の固定化やちょっとした行き違いなどで悩みを抱えて生活している生徒もいる。教員、生徒、保護者の人間関係づくりを更に深め、いじめ・不登校のない学校づくりに取り組んでいく。	難しい年頃なので、子どもたちを見守り、一人一人と向き合ってほしい。立ち向かう勇氣・行動へつながる取組も必要かと思う。	A
家庭・地域と積極的に連携し、地域に根ざした特色ある教育の推進に努める。	保護者 ⑪ 生徒 ⑥ 教職員 ①②	94 84 100	88 82 100	ふるさと学習、ふれあい交流会、地域防災訓練などの行事を実施し、地域との交流を深めることができた。学校運営協議会の活動も円滑に進んでいる。生徒に各活動の意義を考えさせたり、生徒の声を取り入れたりする必要がある。今後も地域とともにある学校づくりを目指していく。	まつりへの参加など、小田ならではの特色ある取組ができています。受験対策も一定必要であるが、社会体験や知見も必要と考える。	A
学校や地域で、安心して生活できる環境づくりや安全教育を充実する。	保護者 ⑦⑧ 生徒 ⑨ 教職員 ⑥⑦	84 96 96	82 100 100	今年度も、幼小中合同の訓練を2回実施し、中学生が中心となった自助・共助や地域を意識した避難訓練となった。地域の安全協会や大洲警察署の方の協力で交通安全や薬物乱用防止教室・ネットトラブルについてなど、幅広い安全教育を行った。	良い評価が得られており、日頃からよく取り組まれている成果である。SNSなど禁止との観点より、どう影響するか知る機会を学びにしていきたい。	A
働き方改革を推進し、豊かでゆとりのある教育活動を展開する。	教職員 ⑳㉑	67	76	学校評価委員会でも、「簡素化できるものは見直して」との意見をいただいた。小中合同運動会の実現など、引き続き積極的に行事の見直しを行い、教育活動を更に工夫していきたい。	先生方の事務的負担の軽減につながるよう、簡素化できるものは思い切って見直ししていけばよいと思う。	A

【評価】 平均80以上…A ただし75以下があればB